

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 夢

目標達成計画

作成日: 平成 25年 10月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	8	利用者様の馴染みの人との関係継続の支援が、入居期間が長い方が多く、子供さん、ご兄弟、ご親戚の方々の面会も段々と少なくなっています。また、自宅へ外泊や外出する方も少なくなっている。	馴染みの人との関係づくり	・利用者様、ご家族の方と話し合う機会を増やす。ケアプラン作成時、面会時、衣類の更新時などに、ご家族の意向もききながら、実現可能な方から少しずつ馴染みの方や馴染みの場所に出かけられるように支援する。 12ヶ月
2	12	重度化や、終末期に向けた方針と支援については、老衰による終末期の利用者様の場合などは、グループホームでの死の看取りが可能になるように、主治医提携医療機関、家族等との連携を図り、最大限の対応をするようになっていますが、今まで看取りをした方がいないため、職員は看取りケアに対する不安は持っている。	不安なく看取りケアが出来るようになる。	・法人内で看取りケアをした事業所から事例についての情報提供をしていただく。勉強会の開催 12ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。